

# 横浜市感染症発生動向調査報告（令和7年5月）

## 《 今月のトピックス 》

- 百日咳の報告数が急激に増加しています。
- 伝染性紅斑の報告数が高い水準で推移しています。
- 感染性胃腸炎の報告が再び増加しています。
- 梅毒は20歳代～50歳代を中心に幅広い年齢層で患者が多く発生しており、引き続き注意が必要です。

### ◇ 全数把握の対象 ＜2025年4月21日～5月18日に報告された全数把握疾患＞

|                    |    |                       |      |
|--------------------|----|-----------------------|------|
| 腸管出血性大腸菌感染症        | 3件 | 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む) | 1件   |
| 腸チフス               | 1件 | 侵襲性インフルエンザ菌感染症        | 4件   |
| パラチフス              | 1件 | 侵襲性髄膜炎菌感染症            | 1件   |
| E型肝炎               | 2件 | 侵襲性肺炎球菌感染症            | 15件  |
| レジオネラ症             | 2件 | 水痘(入院例に限る)            | 1件   |
| アメーバ赤痢             | 3件 | 梅毒                    | 22件  |
| カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 4件 | 百日咳                   | 141件 |
| 劇症型溶血性レンサ球菌感染症     | 2件 |                       |      |

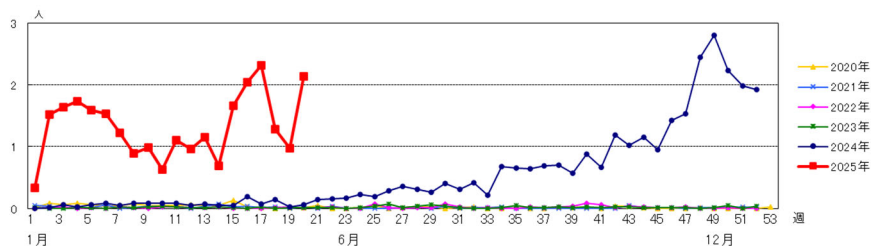
- 腸管出血性大腸菌感染症**:20 歳代～40 歳代で、O 血清群は O26 が 1 件、O157 が 1 件、不明が 1 件です。経口感染と推定される報告が 1 件、感染経路等不明が 2 件です。
- 腸チフス**:10 歳未満で、海外での接触感染と推定されています。
- パラチフス**:10 歳代で、海外での接触感染と推定されています。
- E 型肝炎**:50 歳代及び 60 歳代で、経口感染と推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 1 件です。
- レジオネラ症**:60 歳代及び 90 歳代で、いずれも肺炎型です。感染経路等は不明の報告が 2 件です。
- アメーバ赤痢**:40 歳代～60 歳代で、性的接触(異性間)と推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 2 件です。
- カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:40 歳代～70 歳代で、感染経路等はいずれも以前からの保菌と推定されています。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:いずれも 80 歳代で、血清群は B 群です。尿路感染と推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 1 件です。
- 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)**:30 歳代で、感染経路等は不明です。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症**:60 歳代～80 歳代(ワクチン接種歴不明 4 件)で、以前からの保菌疑いと推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 3 件です。
- 侵襲性髄膜炎菌感染症**:70 歳代で、接触感染と推定されています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症**:10 歳未満～90 歳代(ワクチン接種歴 4 回 1 件、無 5 件、不明 9 件)で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 6 件、その他の感染経路と推定される報告が 2 件、感染経路等不明の報告が 7 件です。
- 水痘(入院例に限る)**: 80 歳代(ワクチン接種歴不明)で、感染経路等は不明です。
- 梅毒**:10 歳代～60 歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期 11 件、早期顕症梅毒Ⅱ期 6 件、無症状病原体保有者 5 件です。性的接触による感染と推定される報告が 20 件(異性間 17 件、同性間 2 件、詳細不明 1 件)、感染経路等不明が 2 件です。
- 百日咳**:10 歳未満～80 歳代(ワクチン接種歴 5 回 1 件、4 回 58 件、3 回 3 件、2 回 1 件、1 回 1 件、無 8 件、不明 69 件)で、家族内感染と推定される報告が 34 件、周囲の流行と推定される報告が 14 件、感染経路等不明の報告が 93 件です。

◇ 定点把握の対象

| 報告週対応表    |             |
|-----------|-------------|
| 2025年第17週 | 4月21日～4月27日 |
| 第18週      | 4月28日～5月4日  |
| 第19週      | 5月5日～5月11日  |
| 第20週      | 5月12日～5月18日 |

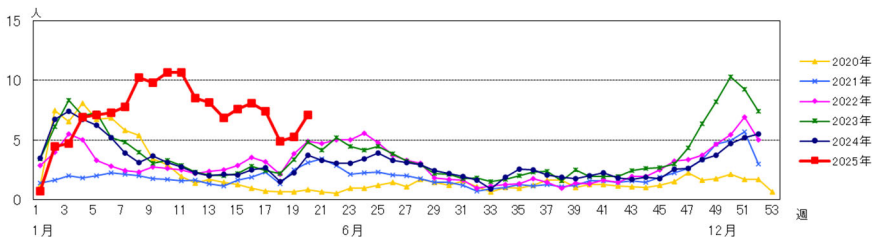
## 1 伝染性紅斑

2024年6月頃より増加傾向となり、以後は例年よりも患者数が多い状態で推移しています。第20週は2.14です。



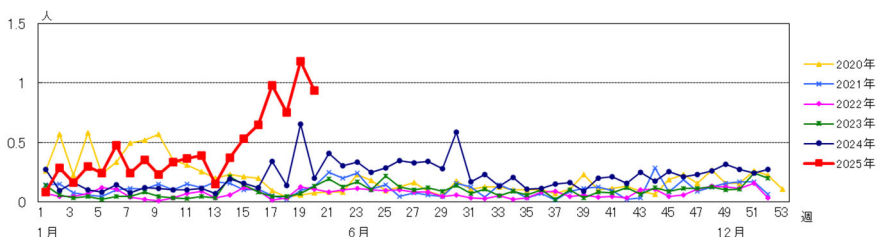
## 2 感染性胃腸炎

2025年第3週(1月13日～1月19日)以降、概ね横ばいから緩やかな減少傾向に転じていましたが18週(4月28日～5月4日)以降再度増加しつつあります。第20週は7.12です。



## 3 水痘

2025年第14週(3月31日～4月6日)以降、増加傾向に転じています。第20週は0.94です。



## 4 性感染症(2025年4月)

|            |        |        |               |        |        |
|------------|--------|--------|---------------|--------|--------|
| 性器クラミジア感染症 | 男性:41件 | 女性:29件 | 性器ヘルペスウイルス感染症 | 男性:6件  | 女性:13件 |
| 尖圭コンジローマ   | 男性:27件 | 女性:1件  | 淋菌感染症         | 男性:13件 | 女性:4件  |

## 5 基幹定点週報

|                   | 第17週 | 第18週 | 第19週 | 第20週 |
|-------------------|------|------|------|------|
| 細菌性髄膜炎            | 0.00 | 0.00 | 0.25 | 0.25 |
| 無菌性髄膜炎            | 0.25 | 0.00 | 0.00 | 0.25 |
| マイコプラズマ肺炎         | 0.25 | 0.50 | 0.50 | 0.25 |
| クラミジア肺炎(オウム病を除く)  | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る) | 0.00 | 0.00 | 0.50 | 0.00 |

## 6 基幹定点月報(2025年4月)

|                   |    |                |    |
|-------------------|----|----------------|----|
| メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 7件 | ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0件 |
| 薬剤耐性緑膿菌感染症        | 0件 | -              | -  |

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症) 定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院) 定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院) 定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

2025 年第 17 週～第 20 週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症) 定点 107 件、小児科定点 2 件でした。

5 月 27 日現在、表に示した各種ウイルスの分離 6 株と遺伝子 33 件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2025 年第 17 週～第 20 週)

| 主な臨床症状等<br>分離・検出ウイルス   | インフル<br>エンザ | 新型<br>コロナ<br>ウイル<br>ス | 上<br>気<br>道<br>炎 | 下<br>気<br>道<br>炎 |
|------------------------|-------------|-----------------------|------------------|------------------|
|                        |             |                       |                  |                  |
| インフルエンザウイルス            | －           |                       | －                |                  |
|                        | 3           |                       | 6                |                  |
| 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) |             | －                     | 2                |                  |
|                        |             | 1                     | 5                |                  |
| RS ウイルス                |             |                       | －                | －                |
|                        |             |                       | 4                | 1                |
| パラインフルエンザウイルス 2型       |             |                       | 2                | 1                |
|                        |             |                       | －                | －                |
| アデノウイルス 2型             |             |                       | －                |                  |
|                        |             |                       | 2                |                  |
| ライノウイルス                |             |                       | 1                | －                |
|                        |             |                       | 5                | 6                |
| 合 計                    | －           | －                     | 5                | 1                |
|                        | 3           | 1                     | 22               | 7                |

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

2025 年第 17 週～第 20 週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症 6 件、腸チフス 1 件、パラチフス 1 件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 5 件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 3 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 件、侵襲性肺炎球菌感染症 1 件、侵襲性髄膜炎菌感染症 1 件、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 1 件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症 2 件、腸チフス・パラチフス混合感染疑い 2 件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎 9 件、感染性胃腸炎 1 件でした。4 月 7 日から開始された急性呼吸器感染症サーベイランスを実施する「ARI 定点」からの検査依頼は 107 件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2025 年第 17 週～第 20 週)

| 菌株同定       |                 | 項目                 | 検体数 | 血清型等                                                                                                              |                                                    |
|------------|-----------------|--------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 保健所        |                 | 腸管出血性大腸菌感染症        | 6   | O157 : H7 VT2 (1)<br>O146 : H21 VT2 (1)<br>Og100 : H－ VT2 (3)<br>OgUT : Hg7 VT2 (1)                               |                                                    |
|            |                 | 腸チフス               | 1   | Salmonella Typhi (1)                                                                                              |                                                    |
|            |                 | パラチフス              | 1   | Salmonella Paratyphi A (1)                                                                                        |                                                    |
|            |                 | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 | 5   | Escherichia coli (2)<br>Escherichia hermannii (1)<br>Klebsiella aerogenes (1)<br>Citrobacter freundii complex (1) |                                                    |
|            |                 | 侵襲性インフルエンザ菌感染症     | 3   | Haemophilus influenzae 型別不能 (3)                                                                                   |                                                    |
|            |                 | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症     | 2   | B群溶血性レンサ球菌 I a型 (1)<br>B群溶血性レンサ球菌 IV型 (1)                                                                         |                                                    |
|            |                 | 侵襲性肺炎球菌感染症         | 1   | Streptococcus pneumoniae 15B型 (1)                                                                                 |                                                    |
|            |                 | 侵襲性髄膜炎菌感染症         | 1   | Neisseria meningitidis Y群 (1)                                                                                     |                                                    |
|            |                 | メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症  | 1   | Staphylococcus aureus TSST-1+、PVL+ (1)                                                                            |                                                    |
| 分離同定       |                 | 項目                 | 検体数 | 材料                                                                                                                | 同定、血清型                                             |
| 保健所        |                 | レジオネラ症             | 2   | 喀痰                                                                                                                | 培養 陰性 (2)                                          |
|            |                 | 腸チフス・パラチフス         | 2   | 血液培養<br>ボトル                                                                                                       | Salmonella Typhi (1)<br>Salmonella Paratyphi A (1) |
| 小児科サーベイランス |                 | 材料                 | 診断名 | 検体数                                                                                                               | 同定、血清型等                                            |
| 小児科定点      | 咽頭又は鼻咽頭<br>ぬぐい液 | 溶血性レンサ球菌咽頭炎        | 9   | A群溶血性レンサ球菌 T4 (5)<br>A群溶血性レンサ球菌 T群別不能 (1)<br>培養 陰性 (3)                                                            |                                                    |
|            | 直腸ぬぐい液          | 感染性胃腸炎             | 1   | 培養 陰性 (1)                                                                                                         |                                                    |
| ARIサーベイランス |                 | 材料                 | 診断名 | 検体数                                                                                                               | 同定、血清型等                                            |
| ARI定点      | 鼻咽頭ぬぐい液<br>鼻汁 等 | ARI                | 107 | 百日咳菌遺伝子 陽性 (0)<br>肺炎マイコプラズマ遺伝子 陽性 (0)                                                                             |                                                    |

【 微生物検査研究課 細菌担当 】